

星宮小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 平成 23 年 6 月 26 日（日） 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
- 2 場 所 星宮公民館
- 3 参加者 53 人
- 4 会議の概要

○質疑応答

（1）活気とにぎわいの創出

市民

現在、国道 125 号バイパスの 4 車線化と地下道の整備が進められています。この工事が完成し中央分離帯が設置されると、バイパスを南北に横切る 8 本の道路のうち 6 本が分断されてしまいます。そのため、私の田んぼに行くのにかなりの距離を迂回しなければならなくなり、とても不便になります。

先日、土地改良事業（土地改良法に基づき、農地をより農業がしやすいように整備すること。）の調査をしましたが、「土地はいらないから売りたい」、「土地改良はお金が掛かるのでやりたくない」といった意見も大分あったようです。

私の家も、私が農業をやめてしまえば、農地は耕作放棄地となってしまう、やぶになってしまうことは容易に想像ができます。

こうした状況を解消するためにも、できれば土地改良事業をやっていたきたいのです。

その場合、例えば、一部を熊谷市の公共用地として使う方法や企業誘致の土地として使う方法など、お金を掛けない方法で土地改良事業ができないかと思っています。

市長

土地改良事業をする費用を捻出するためには、減歩（地権者から少しずつ土地を提供してもらうこと。）をして生まれた保留地を売却して、その費用を事業費に充てる方法がよく使われています。

また、熊谷市での前例はありませんが、土地改良事業の全体面積の 3 割以内であれば、農業用地以外の工業用や住宅用の土地として利用できる方策もあります。

しかし、土地改良事業を行うには、地権者の皆さんの 100%に近い同意が必要となりますし、最近、国や県ではこの同意率について非常に厳しくなっていますので、まずは、地元の皆さんでよく御相談いただきたいと思います。

市民

これは、全国的な問題ですが、この星宮地区でも農業の後継者不足や農業経営者の高齢化が切実な問題となっています。

この地区は、ずっと農業地区でしたが、今では農業者よりも勤労世帯が多くなってきており、農業者1人当たりの耕作地も少ない状況です。

こうした状況の中で、地域として農業を継続していくべきか、それとも諦めて住宅団地や工業団地を誘致した方がよいのかと、判断に迷っているのが実情です。

以前にこの地区でも土地改良事業の話がありましたが、なかなか地権者の同意が得られず、実際にできたのは中条・星宮土地改良区のごく一部だけでした。

そこで、今後、農業を活性化させるためにはどのような方策があるか、また、工業団地などを誘致するにはどのようにしたらよいのかなど、お知恵をいただければ、地域の中でも話し合うことができるのでよろしく願いいたします。

市長

最近、都市計画法が改正となり、市街化調整区域での大規模開発は大変難しく、市の総合振興計画に位置付けられていないと立地が難しくなっています。

また、住宅団地や工業団地などを誘致するにも、農地転用（農地をそれ以外の目的で使用すること。県知事の許可が必要）が難しくなっていますので、市街化調整区域を今後どのように利用していくのかを決めていくことはとても難しくなっています。

先程、土地改良事業の話がありましたが、農業後継者が減少していく中で、将来的に農業を続けていく場合には、より効率的に、あるいは集約化していくことでしか乗り切る方法はないように思います。

今、熊谷中央地区で土地改良事業が行われていますが、ここも、平成元年にいったんは認可された土地改良区を解散した経緯があります。それから20年が経過して土地改良事業の必要性に皆さんが気付いて、「農業はできる人に任せるしかない」、「そのためには農作業がしやすい土地形態にした方がよい」ということになり、事業を復活してようやく工事が始まったところです。

土地改良事業を行うことで面的な整備がされ、いろいろな使い勝手のよさにもつながっていくと思いますので、星宮地区の皆さんも将来的なことも踏まえて話し合いをしていただければありがたいと思います。

また、住宅地としての利用を考えるのであれば、いわゆる「白地の農地」（法律で農業を振興するために特に守ることとされた土地以外の農地）を中心に3

ヘクタール以上のまとまった土地があれば、田園地区まちづくり条例という制度により利用することもできます。

市内でも、原島や新島でそうした話があり、地権者の皆さんの意見がまとまって認可したばかりです。

こうした制度を利用するのも一つの方策だと思いますので、具体的な話があれば、職員を説明等に伺わせますので御相談ください。

(2) 安全と安らぎのあるまち（防災）

市民

この地区では星宮小学校の校舎や体育館が避難所に指定されています。

今後、埼玉県北部が大きな地震に見舞われるような事態に備え、避難所となる施設も耐震強度によっては補強工事等が必要だと思いますが、そうした計画があれば教えてください。

市長

校舎については、全ての小・中学校で耐震補強が既に済んでいます。

また、体育館については、平成 21 年に行いました耐震診断の数値（Is 値：数値が大きいほど耐震性が高い）の低い順に改築の作業に入っています。今年、建て替えを行う吉岡中学校と中条中学校の Is 値は 0.12、熊谷東小学校は 0.14 で、来年度に建て替えを予定しています三尻小学校、籠原小学校、熊谷南小学校は 0.14 となっています。

星宮小学校の Is 値は 0.26 ですが、今、お話しをした学校のほかに 3 校ほど低い値の所がありますので、星宮小学校はその次ということになります。

財政状況は毎年違いますし、緊急にやらなければならない事業などもありますので、財政状況を踏まえながら、少なくとも年に 2 校、できれば 3 校を建て替えていきたいと思っていますので、もう少しお待ちいただきたいとします。

市民

地域づくりに関してですが、夫婦のきずな、親子のきずな、家族のきずななどは依然として深い結びつきが感じられる一方で、地域のきずなは、昨今、大変希薄になってきているように思います。

この星宮地区では地域のきずなを深める事業として、平成 21 年に「レッツビギン飛び出せ！定年事業」、22 年には「地域活動における次世代育成事業」に取り組んでおり、初年度は 80 人、次年度には 180 人の参加を得ています。

話に伺いますと、今年度をもって事業を終了するとのことですが、こうし

た事業は、地域の皆さんの参加がしやすく、とても有意義な事業なので今後も続けていただきたいと思います。

市長

ある程度の期間をもって一応の区切りを付けたいとは思っていますが、地域のきずなを深める事業を一切やめてしまうということではありません。何らかの形で地域の皆さんとの協働事業を進めていきたいと考えていますので、これから市としても工夫を凝らしていきたいと考えています。

市民

星宮公民館は、前から見るとさほどではないのですが、裏に回ると数十センチほどの地盤沈下が起きています。

公民館は、大勢の人が集まる場所ですし、この辺りは液状化現象も心配される地域ですので、補強工事などを行っていただけないかと思っています。

市長

今度の震災でどの程度の影響があったかは分かりませんが、以前から少し地盤沈下はあったようです。

今の状態が危険な状態ということではないと思いますが、担当職員に改めて現場を見させておきたいと思います。

市民

地域の行事や文化についての質問です。熊谷のうちわ祭は、全国的に有名ですが、このお祭りが見る人を感動させるのは、山車を引く人、笛を吹く人、また、太鼓をたたく人など、大勢の人たちが力を合わせて一つになっているからこそだと思います。

私たちの地域にも、市の無形民俗文化財になっている古宮神社の獅子舞があり、このお祭りに地域のみんなで力を合わせて取り組むことで、地域のきずなが作られるのだと思っています。こうした行事は、熊谷市にも19ほどありますが、今後、こうした文化財をどのように位置付け、どのようにして守っていくのかお聞かせいただきたいと思います。

市長

うちわ祭は、熊谷を代表するお祭りの一つですが、この星宮地区の古宮神社の獅子舞ですとか、中条であれば樽踊りといったように、地域ごとに様々な文化があります。市の文化財に指定されているものには、市でも若干ですが財政的な応援をさせていただいているところですが、こうした応援はこれからもしていきたいと考えています。

また、「地域伝統芸能今昔物語」という地域の伝統文化を舞台の上で発表す

る場を設けて、多くの方に見ていただけるような、また、活動されている皆さんの励みとなるような事業にも取り組んでいますので、星宮の皆さん、古宮神社の皆さんにも引き続き御協力をいただければと思っています。

市民

この地区の子どもたちは中学校に自転車で通っています。前回のハートフル・ミーティングでもお願いしましたが、是非、学校に行くまでの通学路に自転車が通れる歩道を設置してほしいと思います。

また、私は一人で買物に行くときは自転車を利用するのですが、星宮から市内に向かう途中に歩道の無い所があり、そうした場所で年配の人が危険な目に遭っているのをよく見掛けます。通学路だけではなくまちの中にも自転車が安心して通れる歩道を整備してもらえたらと思います。

市長

前回のハートフル・ミーティングでも、国道17号バイパスから古宮神社までの間の歩道整備が遅れているという話がありました。

また、国道125号から分岐する県道熊谷羽生線が新たに整備されたことで、これまで県が管理していた部分が、市の管理になった部分もあります。

この道路は星宮地区の幹線道路ですから、地権者の皆さんの協力が得られれば歩道の整備を進めたいという気持ちはあります。しかし、そのためには地権者の皆さんから用地を提供していただくことが前提になりますので、地域での合意形成を進めていただく必要があるのではないかと考えています。

この考えは、市街地の歩道整備についても同じです。

市民

国道125号バイパスにはいくつかの地下道がありますが、学校からは「危ないから通らないように」と子どもたちは言われているようです。この地下道は自動車もあまり通らず安全だと聞いていますし、せっかく設置されているものなので、みんなが安心して通れるような方法を考えてもらえたらと思います。

市長

この地下道は国道125号バイパスができたことで、分断された農地へ行くのが不便にならないように整備されたのが始まりだと思います。

いずれにしても、地下道を安全に使えるためにどのような方法があるか考えてみたいと思います。

市民

私の家の近所に生垣の枝が道路に出ている場所があり、とても危険です。これまでも半年に一回ほど交通事故が起きています。このことで5月に安心安全課に相談に行きましたら、担当は維持課であるとのことでした。

安心安全課では親切に地図を用意してくれたのですが、その日は時間が無かったので維持課へは行きませんでした。私のような年齢になりますと、出直すのはとても大変なので、連絡票のようなものを作って担当課に回すとか、安心安全課に維持課の職員を呼んで1か所に対応してもらえればと思ったところでした。

それと、枝が道路に出ている家ですが、高齢者の一人暮らしで、事情があって直接交渉をすることができません。

このような場所は、他にもたくさんあると思いますが、是非、行政で対応してもらえればと思います。

市長

市とすれば、できれば近所の皆さんと相談をして、共同作業のような形でやっていただければありがたいと思います。

また、市の職員が、市民の皆さんから御相談を受けたときに、なかなか話がまとまらず、うまく対応できない場合もあり、そのことについては大変申し訳なく思っています。これからも職員には機会あるごとに、市民の皆さんに対するサービスを徹底するよう話していきたいと思っています。

場所については、後で職員に教えてください。

市民

まちの中が空洞化してしまい、事業所などは海外に行ってしまうという話がありましたが、熊谷市のまちの中には熊谷寺や星溪園など、歴史的にも文化的にも良い所が結構あるのではないかと思います。

やはり、まちなかに人が集まらないと活気が生まれてこないと思うのですが、こうした場所に人が集まるような観光マップを市では作っているのでしょうか。

市長

はい。熊谷市全域の観光スポットを紹介したマップを作っています。市役所や熊谷駅の観光案内所などで配布しているほか、市内で開催されるイベントなどに合わせて配布しています。

市民

熊谷市には自主防災組織が167団体あるということですが、星宮地区では

まだ結成されていません。

しかし、星宮地区には消防団がありますから、消防団の人たちにリーダー的な役割を担ってもらい、自治会と連携して自主防災組織を立ち上げられたらよいのではないかと思います。

そして、防災訓練をするときには、消防団の人たちにリーダーシップを発揮してもらい、地震が起きたときにはどのように対応したらよいのか、怪我人が出たときにはどのような応急手当をしたらよいのか、また、応急担架はどのように作るのかなどの指導をしていただければと思います。

市長

是非、星宮地区でも自治会単位で自主防災組織を結成していただければありがたいと思っています。

地域によっては、自治会単位で自主防災組織は作るけれども、訓練は小学校単位や連自治会単位でやっている所があります。この星宮地区も避難場所は星宮小学校ですから、いざというときに連携が取りやすいように小学校単位で訓練をしていただければよいのではないかと思います。

また、訓練では、初期消火訓練や応急担架の作り方をやっている所もありますし、炊き出し訓練として、豚汁やおにぎりを作って、最後にみんなで食べてから解散する所もあります。また、大災害のときには車が使えませんが、避難誘導訓練として自分の家から避難場所まで歩いて集合する所もあります。

先程、地域のきずなという話もありましたが、こうした取組は地域の連帯感を高める上でも必要なものだと思いますし、まずは自主防災組織を立ち上げませんと、こうした訓練もできませんので、是非、結成していただければと思っています。

それから、要援護者リストとって、一人暮らしのお年寄りや身体が不自由な方のうち、「いざというときに私を助けてください」という申し出のあった方のリストを最近作成しました。

今、その名簿は民生委員さんが持っていますが、地域によっては、その名簿を自治会や自主防災組織の役員さんと共有をして、災害時には「この人は誰が助ける」といったところまで、既に相談していただいている所もありますので、こうした取組の面でも、是非、皆さんに協力をお願いしたいと思います。

市民

ゆうゆうバス（市内循環バス）についてですが、星宮地区を通るバスは最初の便が8時40分、最終の便が19時25分で、1日に5本しか出ていません。

また、昔は星宮小学校や星宮公民館にも止まりましたが、今は下川上の依田自動車工業の所と池上の華ぐるまの所の2か所しか止まりません。

時刻表を変更するときでよいので、もっと本数を増やしてほしいと思います。また、停留所の位置もあと2か所ほど増やしてもらえるようにお願いします。

市長

実はいろいろな所から停留所を増やしてほしいという要望があって、それを全て伺うと、今まで1時間で回れたところが、2時間も掛かってしまうことになります。

今回行く路線の見直しでは、特にこれまでゆうゆうバスが走っていなかった江南地域ですとか、市街地の中へバスを回したいと思っていますが、こうした市内循環バスの事業には、市全体で9,000万円程度の予算が必要となります。また、バスを1台増便すると車両の購入費のほかに年間800万円ほど費用が掛かりますので、このことについては、課題として承りたいと思います。

市民

シルバーガイドという冊子を見ると「高齢者のいきがいと健康づくり事業」というのがあって、65歳以上の人は申請をすれば、アクアピア（市営の屋内プール）の無料券が年間で2枚もらえることになっています。

大里に健康スポーツセンターという施設がありますが、そこはとても行きやすく、サウナやいろいろな施設も整っているので、この施設の無料券も出ないものかと長寿いきがい課に問い合わせましたが、出ないとのことでした。

同じ市の施設でありながら、行きやすい、使いやすい施設の無料券が出ないというのは考え物だと思います。是非、アクアピアと同じように、健康スポーツセンターの無料券も出してほしいと思います。

市長

健康スポーツセンターの無料券は、おそらく料金設定が違うので実施していないのではないかと思います。帰ってよく相談したいと思います。

○市長まとめ

本日は長時間に渡りまして、皆さんといろいろとお話をさせていただき、また、いろいろな御意見をいただきましてありがとうございました。とても良いミーティングになったのではないかと思います。

今日いただきました御意見につきましては、早速取り組みたいと思います。少し時間の掛かるものもございまして、それらについてはお許しをい

ただきたいと思います。

今日は、小学校の校長先生もおいででございます。星宮小学校では77人の子どもがお世話になっているわけですが、特に星宮の皆さんは、小学校のことについて一生懸命頑張っていて、授業や催し物などいろいろな面でサポートをしていただいていることに心から感謝をしたいと思います。やはり、いつの時代でも子どもたちが地域の中心だと思っていますので、これからも、子どもたちのこと、PTAのこと、あるいは子ども会のこと、学校のことなど、いろいろな面で応援をしていただければありがたいと思います。

本日は貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。これかもよろしく願いいたします。